

## 家庭科 第6学年

題材名		9. 見つめてみよう生活時間
配当時数		2時間
題材の目標		生活時間について、家族との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、家族の一員として、生活時間の使い方を考え、工夫することができる。
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	生活時間の有効な使い方について理解している。
	思考・判断・表現	生活時間の有効な使い方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活時間の有効な使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

題材名		10. 朝食から健康な1日の生活を
配当時数		8時間
題材の目標		朝食の役割と栄養、いためる調理について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、調理計画を考え、いためる調理の仕方を工夫することができる。
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	食事の役割と栄養を考えた食事について理解しているとともに、いためる調理について理解し、適切にできる。
	思考・判断・表現	食事の役割と栄養を考えた食事、いためる調理について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割と栄養を考えた食事、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

題材名		11. 夏をすずしくさわやかに
配当時数		8時間
題材の目標		夏の快適な住まい方や衣服の着方と手入れについて、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、夏を涼しく快適に過ごすための住まい方や着方・手入れについて考え、工夫することができる。
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	住まいの働きや季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方について理解しているとともに、日常着の手入れの仕方を理解し、適切にできる。
	思考・判断・表現	季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

題材名	生活を変えるチャンス！	
配当時間	4時間	
題材の目標	学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践することができる。	
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	—
	思考・判断・表現	家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。

題材名	12. 思いを形にして生活を豊かに	
配当時間	13時間	
題材の目標	生活を便利で豊かにするための布を用いた製作について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。	
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	製作計画や手ぬいやミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいやミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいやミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

題材名	13. まかせてね今日の食事	
配当時間	10時間	
題材の目標	栄養を考えた食事について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、1食分の献立と環境に配慮した調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、栄養のバランスを考えた1食分の献立を工夫することができる。	
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。
	思考・判断・表現	1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事や買い物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

題材名	14. 冬を明るく暖かく	
配当時数	5時間	
題材の目標	冬の快適な住まい方や衣服の着方について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、冬を暖かく快適に過ごすための住まい方や着方について考え、工夫することができる。	
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	住まいの働きや季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について理解している。
	思考・判断・表現	季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

題材名	15. あなたは家庭や地域の宝物	
配当時数	9時間	
題材の目標	家族や地域の人々との関わりについて、家族や地域の人々との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、よりよい関わりについて考え、工夫することができる。	
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。
	思考・判断・表現	家族や地域の人々との関わりについて課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

題材名	2年間のまとめ	
配当時数	1時間	
題材の目標	2年間の学習でできるようになったことをふり返って、家庭や地域に生かそう。	
題材の 観点別 評価規準	知識・技能	—
	思考・判断・表現	—
	主体的に学習に取り組む態度	これまでの学習をふり返ってできるようになったことを確認し、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫し、家庭や地域で実践しようとしている。